

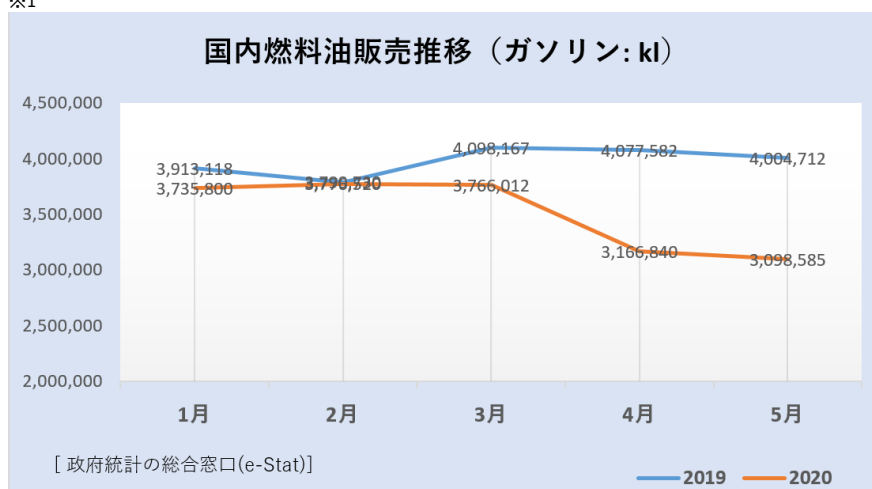
コロナ禍により車の走行距離が減少 でも、バッテリー上がりのトラブルが増加 車のトラブルを防ぎ、猛暑の夏をのりきるために 「車の夏バテ対策3つのポイントを」ボッシュが伝授

2020年8月11日

- ▶ 外出自粛で運転距離は減少でも、バッテリー上がりのトラブルが増加
- ▶ バッテリーを含む車の「夏バテ対策3つのポイント」をボッシュが伝授

政府の統計^{※1}によると、3月のイベントや外出自粛が要請されて以降、国内のガソリン販売量が大きく減少しており、車の利用や走行距離が減少している事がわかります。しかし、近所の移動にしか車を使わない「ちょい乗り」や、1カ月近い「長期保管」はバッテリーの負担を増やしてしまうため、車の利用が減っているにも関わらず、過放電バッテリーによるトラブルが昨年と比べて約10%^{※2}増加しています。更に、夏はエアコンによる消費電力が増えるので、バッテリーの夏バテが起こりやすくなります。この時期、エアコンが効かない、車が動かない、というトラブルは危険です。また、車の夏バテはバッテリーだけではなくので要注意です。そこで、今回、世界トップクラスの自動車機器サプライヤーのボッシュが、車の夏バテを防ぐ3つのポイントを紹介します。

※1



1、バッテリー

車のバッテリーは特に重要です。車のスタートボタンやキーをオンにすると、バッテリーの電力でエンジンを始動させます。また、運転支援システムなどコンピューター制御されているシステム、ナビゲーション、エアコン、オーディオなどの電装系もバッテリーから電力が供給されています。車のエンジンがオフの状態でも、キーリモコンによるロック・アンロックや電動スライドドアに反応するため、また、ナビのメモリー保持のためにバッテリーは車に微電流を流し続けています。更に、バッテリーを放置している場合でも時間の経過によって「自然放電」が起こっています。このように様々な機能により消費された電力は、走行中に発生する発電により補充され回復していきます。そのため、この走行距離が短いと、十分な充電がされないため

バッテリーの電力が下がり、バッテリー上がりに繋がってしまいます。特にエアコンの使用が増える夏は消費電力が増えるため、バッテリーの夏バテが起こりやすくなります。週間に1回は、30分程度※3の走行を行い、消費電力を充電する必要があります。更に、充電容量の大きなバッテリーに交換するとより安心です。ボッシュは欧州車から国産車まで幅広く対応できる大容量バッテリーを各種取り揃えています。

2、ワイパー

夏の強い紫外線や熱によって、ワイパーのゴムの劣化が進みます。ゴムが劣化すると雨天の運転の視界が悪くなりとても危険です。スジ、拭きムラ、にじみなどが出る場合は交換が必要です。交換は非常に簡単で、自分で行う事ができます。一度自分の車のワイパーの長さを知っておくと次回から自分で交換がスムーズです。ボッシュのJ-FIT(+)¹は取り付けと、ゴム交換が非常に簡単で、特殊構造によりパフォーマンスが長持ちします。

■動画：自分で簡単 DIY！ワイパー交換 ボッシュJ-フィット(+)¹：

<https://youtu.be/GspD5h02sog>

■車のワイパーサイズを検索[ボッシュJ-フィット(+)]²：

https://www.bosch.co.jp/aa/fit-search/step-2.asp?for_domestic=yes&fit_group=59

3、ラジエター・冷却水

エンジンが熱くなりすぎてオーバーヒートしないように、冷却水(クーラント液)がラジエターホースを通してエンジンを冷やしていますが、この冷却水(クーラント液)が漏れていたり、蒸発して減っているとオーバーヒートの原因となります。お近くのカー用品店でチェックをお勧めします。

※2 JAF「過放電バッテリーによる出動」2020年6月52,617件と2019年同月47,000件を比較

※3 渋滞・信号停止が少ない場所での走行。車両システム・バッテリーの走行前電圧や経年劣化により必要な時間は変わります。

【製品情報】

■大容量、ボッシュバッテリーラインナップ

耐久力	タイプ	国産乗用車		欧州車用	アメリカ車用
		日本規格(JIS)	欧州規格(EN)	欧州規格(EN)	アメリカ規格(BCI)
↑ 耐久力	EFB (強化型液式)	ハイテック プレミアム 	ハイテック E [アイドリングストップ] 	BLACK-EFB 	
	AMS (充電制御) ハイパフォーマンス	ハイテック シルバー II 		Silver X 	
	AMS (充電制御) スタンダード	PS バッテリー 	ハイテック E [スタンダード] 	PS-I Battery 	US Power Max 

■ボッシュの高性能フラットワイパー、「エアロツイン J-フィット(+)」

[国産車用]

ワイパー開発歴 90 年以上のボッシュが発表したフラットワイパー、「エアロツイン J-フィット(+)」はその研究結果が詰まった最新ワイパーです。優れたワイピングが長持ち、オールシーズン対応※4、替えゴムの交換も可能ですのでコストパフォーマンスにも優れています。2019 年にはユーザーレビューに基づいた「みんなカラ」のワイパー部門の年間大賞に選ばれました。

※4 降雪状況や気候状況に応じて、適切な冬用ワイパーの使用を推奨します。



エアロツインシリーズ(2本セット・シングル)

[輸入車用]



お問い合わせ：

クレジット表記および製品に関するお問い合わせ先：

ボッシュ(株)オートモーティブ アフターマーケット事業部

広報担当：増田 かおり

TEL: (03)5485-6145 / 070-2650-7536

URL: <http://jp.bosch-automotive.com/ja/>

本リリースおよび撮影用製品・画像データ等のお問合せ先：

Bosch PR 事務局(株式会社プラチナム内)

担当: 宮下

TEL : 03-5572-7351

FAX : 03-5572-6075

ボッシュ オートモーティブ アフターマーケット事業部

オートモーティブ アフターマーケット事業部(AA)では、乗用車及び商用車向けに、幅広い車両診断・修理機器ラインナップおよび修理工場向けの新品またはリビルト補修パーツをアフターマーケット市場とボッシュのサービスショップを通して世界に展開しています。

ボッシュはOEM 製品の補修部品をはじめ、ボッシュがアフターマーケット用のアクセサリーおよび補修サービスパーツを開発、製造し、世界 150 カ国に 18,000 人以上の従業員とグローバルなロジスティックネットワークを有し、650,000 点に及ぶ異なった補修パーツをお客様へより早く確実にお届けしています。そして車両診断機器事業として、オートモーティブ アフターマーケット事業部では、車両診断及び修理技術、診断機器用ソフトウェア、サービストレーニングと各種情報を提供しており、さらに当事業部では、世界最大級となる独立系修理工場ネットワークであるボッシュカーサービスを 17,000 店舗世界に展開し、同時に 1,000 店舗以上の「Auto Crew」をパートナーの修理工場ネットワークとして展開しております。

さらに詳しい情報は www.bosch-automotive-aftermarket.com を参照してください。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2019 年の従業員数は約 40 万人(2019 年 12 月 31 日現在)、売上高は 777 億ユーロ(約 9.5 兆円*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ボッシュは IoT テクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー 4.0 さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、サステイナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI(人工知能)を搭載する、もしくは AI が開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 126 の拠点で約 7 万 2,600 人の従業員が研究開発に、約 3 万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

ボッシュの起源は、1886 年にロバート・ボッシュ(1861~1942 年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の 92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

*2019 年の為替平均レート、1 ユーロ=122.0058 円で計算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPress> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschiJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)